ソプラノ／武井 優希さん（R財団学友）

バイオリン／平澤 仁さん（東フィルコンサートマスター・R財団学友）

オペラ（武井さん、村山さん）、伴奏（平澤さん、椎野さん）

ソプラノ／国際親善奨学生　中津川 祥子さん

Governor's Monthly Letter

ガバナー月信

2008－09年度　国際ロータリー第2770地区

〒330-0063
さいたま市浦和区高砂1－2－1－116
エイペックスタワー東館1階
ＴＥＬ：048・827・0022
ＦＡＸ：048・827・0011
E-mail：ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp

夢をかたちに

2009.3　Vol.9

Governor Message

ポリオ撲滅運動の全体像

ガバナー　岩渕　均

今回の国際協議会で、ビルゲイツ財団が2億5500万ドルをRIに寄付し、これに応えてRIは1億ドルの寄付を集めることになりました。一方では有難いことですが、他方、私たちも募金計画を変更しなければならなくなりました。ロータリーは「寄付集めの団体ではない」という声が聞こえそうなので、ここではハーバードA.ピグマン元RI事務総長の「ポリオにうち克つ」の立場から物事を見てみようと思います。

決議23-34を読む限り、その成立過程からみても、また、その文脈（第3項）から判断しても、「RIがイニシアチブをとって活動することは禁止されている」と読めます。また、第5項ではクラブが社会奉仕活動を選ぶ絶対的な自治権を持っている、とも規定しています。

しかし、こと「ポリオ撲滅運動」に関しては正にRIがイニシアチブを取り、WHO、ユニセフ、CDCおよび各国政府の賛同を得て進めている大事業です。それも1985年に始まっているので今日までに既に24年も経過しています。今更「RIは事業主体になるべきではない」あるいは「我々のクラブはポリオ撲滅に協力しない」とは言えないことだと思います。RIが再三訴えているように、ポリオ撲滅を最優先に考えるべきだと思います。

しかし、私達ロータリアンは無尽蔵に資金力を持っているわけではありませんし、ビルゲイツ財団とは比較にならない程度の資金力であることも事実です。限度の中で寄付に応ずるほかはありません。その他できることは、公共イメージに訴えてポリオ撲滅運動に市民の協力をお願いすることでしょう。更に政府の拠出金を増やすことができればベストです。

会員や市民に協力を要請するためには、「いつ頃撲滅が可能なのか、毎年の必要資金はどれくらいなのか、その資金をどのように調達するか、誰がどのようにワクチンを投与するのか」、などの「ポリオ撲滅運動の全体像」が必要になります。「全貌を知り、最大限努力する」。これしかありません。2～3ページに私が理解した範囲で「ポリオ撲滅運動」の全体像を掲げましたので、これをお読みいただいて2億ドルチャレンジにご協力いただけますようお願い申し上げます。

「ポリオ撲滅」の約束を果たそう

ガバナー　岩渕　　均

皆様既にご承知のことと思いますが、2009年の国際協議会において、ポリオ募金について新たな動きがありました。ビルゲイツ財団が2007年11月の１億ドルに次いで、更に2.55億ドルの寄付をしてくれたのです。これに応えてRIも追加に１億ドル寄付を募ることを約束しました。

ポリオ募金につきましては、昨年（2008年）７月より募金に対する協力をお願いしている際に、「ポリオ撲滅運動の全体像が見えない」との指摘がありましたので、私の理解した範囲で今月（３月）号と来月（４月）号の２号に亘り説明させていただきます。

目次：1. ポリオ（脊髄性小児麻痺）とは（３月号）
2. 日本の状況
3. ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の歴史（その１）
4. ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の歴史（その２）（４月号）
5. 資金面の推移
6. ロータリアンの現地における活動

私は医者でも研究者でもありませんので、断定的に記述することはできませんし、間違いがあるかもしれませんが、全体像を示し、会員の皆様が募金活動に対する理解を深めてくださることを目的として、私が理解したことを記述させていただきます。

１．ポリオ（脊髄性小児麻痺）とは

ウィルスによる病気。ポリオ・ウイルスが脊髄神経の灰白質という部分をおかすので、ポリオ（灰色）の名が付けられました。始めの数日間は風邪のような症状で、その後急に足や腕が麻痺します。呼吸器を麻痺されると死に至ります。紀元前1500年頃のエジプト王朝時代の板碑のレリーフにポリオらしい若者の像あり、人類の歴史と共にあったものと想像されます。

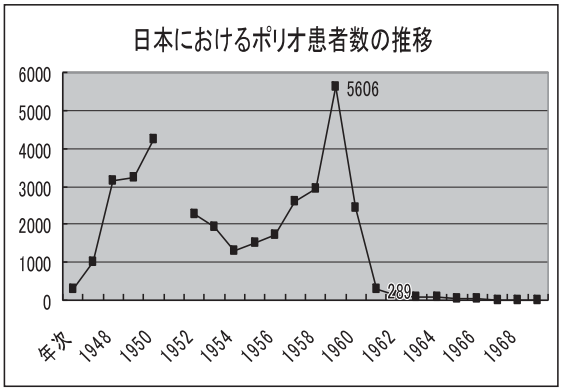
エジプト王朝板碑

治療法はなく、ワクチン接種（生涯免疫を作ること）による予防が唯一の対処とされています。感染経路等は下記の通りですが、ここで注目して欲しいことは、「宿主が人間のみであり、有効なワクチンが存在し、ワクチンの効果が一生有効である」ことです。このことは、国際ロータリーが1985年から始めたポリオ撲滅運動が99％まで達成できたことで実証されていると思います。ウィルスがワクチンに対する耐性を持つこと、あるいはウィルスが変異することが危惧されますが、そういうことがないということを前提にすれば、「ワクチンを投与できればポリオは撲滅できる」、と言えると思います。

感染経路：感染者の尿や便などの排泄物による経口感染。
宿　　主：人間のみ
発　　症：100～200人に１人程度。
治 療 法：ない。対策は予防。
予 防 法：ワクチン投与
ワクチンの効果：一生有効
ワクチン代：60セント
ウィルス株：Ⅰ型、Ⅱ型（撲滅）、Ⅲ型

２．日本の状況

日本でも昔からポリオが発生していましたが、新しいところでは、1950年ごろから1960年にかけてポリオが流行しました。特に、1960年には北海道を中心に大流行し、約6000人の患者が発生し、日本中をパニックに陥れました。これに



対する解決策として、ソ連およびカナダから経口生ワクチン1300万人分を緊急輸入し、3年間にわたりNID（全国一斉投与）を実施した結果、1963年には約100人までに減少させることに成功しました。

日本で行われたNIDの結果により、NIDが有効であることが立証されたので、後にWHOによりポリオ根絶の世界戦略として採用されることになりました。

日本では1981年以降、ポリオの発生がありませんが、ポリオ・ウィルスの保菌者が入国する恐れがある＊ため、現在でも、全ての新生児に対し予防接種としてワクチンの投与が行われています。

＊　ポリオ・ウィルスが体内に入っても殆どの人が発症せず（発症例は100～200人に1人程度）、ウィルスを保菌していることに気付かず海外旅行することもある。そこで、既にウィルスを撲滅した国においてもワクチンの投与は必要となる。

日本における主な出来事

1959年：不活化ワクチン（ソークワクチン）の製造開始。

1960年：北海道でポリオ大流行、この年患者数約6,000人。

1961年：ソ連及びカナダから経口生ワクチン（セービンワクチン）1300万人分を緊急輸入。

1961－1963年：世界で最初の徹底したNID（全国一斉投与）を実施。患者数が激減（患者数　1960年 約6,000人→1963年 約100人）。このNID（全国一斉投与）が、後にWHOによりポリオ根絶の世界戦略として採用される。

1981年：この年以降ポリオの発生なし。

2000年：WHOに対しポリオ根絶を報告。

ポリオ根絶した現在も、全ての新生児に対し予防接種としてワクチンの投与が行われている（「母子健康手帳」参照）。

3．ロータリーを中心とするポリオ撲滅運動の歴史（その1）

セービン博士

紀元前の昔よりポリオが存在していたようですが、その原因がウィルスであり、予防ワクチンが開発されたのは比較的最近のことです。1949年にエンダース（米）が培養器の中でウィルスを増殖することに成功してから、ワクチン開発の研究が進み、1953年にソーク（米）不活性ワクチンが、1957年にはセービン（米）生ワクチンが相次いで開発されました。尚、セービン博士はシンシナティ・ロータリー・クラブの会員だったそうです。

ロータリーは1978年に3Hプログラム（Health, Hunger and Humanity Program）を発表し、1979年にフィリピンで600万人の子供を対象にポリオ・ワクチンを投与し、成功を収めました。この成功を元に、ロータリーは1985年、「世界からポリオをなくそう」とポリオ撲滅運動を開始したのです。当初、撲滅に必要なワクチンは1億2000万ドルと見込まれていましたので、ロータリーはこの金額の募金を呼びかけました。この募金運動の結果、当初見込みの2倍に当たる2億4700万ドルの寄付が集まったそうです。しかし、後にポリオ撲滅に必要な金額は2億4700万ドルでも全然足りないことが判明しました（後述の「4.　資金面」参照）。

ロータリーのポリオ撲滅運動は、1988年に、世界保健機関（WHO）が世界保健総会で全会一致の賛同を得たことで、世界的運動になりました。その後、ユニセフとCDC（アメリカ疾病予防センター）も参加し、4団体がGlobal Polio Eradication Initiative（以下、「国際ポリオ根絶運動」と表記）という組織を構成し、人類共通のプロジェクトとしてポリオ撲滅運動を進めています。

Global Polio Eradication Initiative

ポリオ撲滅：ロータリーの１億ドルのチャレンジチャリティコンサートを終えて

財団増進・ポリオ委員会委員（チャリティコンサート担当）
真野　多加史（春日部西 RC）

平澤仁氏、武井優希氏、中津川祥子氏、３名の第2770地区より輩出した（中津川さんはこの夏にイタリアへ奨学生として行きます）ロータリー財団奨学生は、その勉学の成果を皆様に披露することができるという意気込みはかなりのものでした。また、その実力を充分に発揮できたコンサートであったと疑いません。実際にそれを見届ける事ができたロータリーアンもかなりの満足を持って帰路に着いたこととアンケート用紙を見ても想像ができました。ロータリーの意義をも再認識できる格好な時間でもあったかなとも思います。

ヴァイオリンのビブラートの響きとともに、ソプラノの微妙なニュアンスで愛を歌い上げる中に、音楽ホールの同じ空間で音楽の美しさを分かち合うことが出来た事はこの上もない喜びです。そして、今回軽妙な語り口でコンサート全体を和やかに盛り上げて頂いた、バス・バリトンの村山岳氏、そして全ての曲で的確な表現での伴奏の任をして頂いた椎野朋子さんにも賞賛の拍手を惜しみません。

今回のチャリティコンサートのチケット代3,000円の内、コンサートの経費を差し引いた分がポリオに寄付されるのですが、できればコ

左から平澤仁、村山岳、武井優希、椎野朋子、中津川祥子

ロータリーのポリオ撲滅運動をＰＲ

オペラを歌う武井さんと村山さん

全曲を伴奏してくれた椎野朋子さん

バス・バリトン村山岳氏

彩の国さいたま芸術劇場音楽ホール　2009年1月30日(金)

ソプラノ武井優希さん

バス・バリトン村山岳氏

アンコールに応える演奏者

ンサートそのものの価値を3,000円にしたい、少なくともその努力をするのが担当した私の使命だと思いました。

その価値に相当するコンサートを享受できれば、その中でポリオの寄付もできるわけで、それに向かって準備をしましたし、コンサート全体のディテールにもこだわりました。

お蔭をもちましてポリオに対する多額の寄付が出来ました。第2770地区の多くのロータリーアンのご協力に対し絶大なる感謝の念を申し上げる次第です。

ポリオ撲滅チャリティ・コンサートを設営してくれたロータリー・ファミリー

国際協議会に参加して

国際ロータリー第2770地区　ガバナー・エレクト　大塚　信郎

本年度の国際協議会は、１月18日にサンディエゴのグランド・ハイアットホテルに全世界534地区のガバナーエレクトが集まり、１月19日から24日までの６日間開催されました。

10回の本会議、14回のセッション（17名＋研修リーダー＋RI職員の監視役）、２回のクラブ・地区支援セッション（日本事務局職員による）合計26回の会議が、平均70分の会議・20分の移動休憩のペースで行われました。そして国際親善晩餐舞踏会・国際祭りの夕べ・「出でて奉仕せよ」晩餐会と三回の夜の行事も楽しくこなしてきました。肌・目・髪の色の違った、異なる言語で様々な衣装をまとった方々と、同一の目的で一週間にわたり交流したことで、ロータリーの素晴らしさを改めて感じることができました。

ジョン・ケニー RI 会長エレクト所信表明

次年度のRI会長エレクト、ジョン・ケニー氏は「ロータリーの未来は　あなたの手の中に」を次年度のテーマとして第一回本会議で発表いたしました。そして、「一世紀余りにわたり発展し続けてきたロータリーの奉仕を振り返るとき、私たちの未来は、苦境にある人々に希望をもたらし、争いの絶えない世界に平和をもたらす幾世代ものロータリアンによって末永く確かなものとなるに違いないと胸を張って言えます。私たち一人ひとりは、いわば過去を未来へとつなぐ鎖の輪のような存在で、大いなるロータリーという伝統の一部を成しているとたとえることができます」と説明なさいました。

ビルゲイツ氏ポリオ撲滅を訴える

また、ジョン・ケニー会長エレクトは、次年度活動方針を、RIの長期計画７項目に則って提示なさり、クラブが、RI会長エレクトが提案する会長賞に挑戦するならば、必ずそのクラブは活性化し、「極めて効果的なクラブになれる」とRI会長賞への理解と挑戦を訴えられました。

水曜日（21日）行われた第５回本会議には、突然ビルゲイツ氏が現れ、ポリオ撲滅の重要性を訴え、昨年度の１億ドルに続き「２億５千５百万ドルを使途指定寄付として財団に送

るから、ロータリーも向こう３年間でもう１億ドルを寄付してほしい」と、プログラムでは予定されていなかった発表・講演がありました。RI理事会と財団管理委員会は、全会一致で採択したとの発表も同時にありました。この時点より「ロータリーポリオ撲滅２億ドルのチャレンジ」が始まりました。ポリオの悲惨さを勉強するにつけ、私たちもできる限りの支援をし、ポリオ撲滅に向け活動しなければ、と強く感じる一幕でした。

印象に残った講演は、ラジェンドラK.サブー元RI会長の行った「職業奉仕：忘れ去られた部門」です。サブー氏は、講演に備えようと考えをめぐらせていたところ、「何ゆえに私たちはこの部門をおろそかにしてきたのか」という問いに驚愕を覚えずにはいられませんでした。今日ほどロータリーの倫理の信条が必要とされる時代はありません。職業分類の重要性を取り戻さなくてよいものでしょうか。私にとって職業分類は、ロータリーにおける自分の看板のようなものです。「ロータリアンの一人ひとりがロータリーの理想主義と自分の職業とを結ぶ輪の役をする」というポール・ハリスの言葉を忘れてはなりません。事業や職業の環境が悪化する中で、世界が求めているのは倫理観と社会的責任感の強い人々です。職業奉仕部門の旅は、人生の旅そのものです。近道も高速道路もありません。人々の住む町や村に通じる道々を行くのです。そこで出会った人々を助け、その恩返しに、皆さんが頂上を目指して上るとき、今度は彼らが後押ししてくれるでしょう。この旅が皆さんを人間として成長させ、皆さんの中の眠れる巨人を揺すり起こし、無限の可能性に気づかせてくれるのです、と結ばれました。

次年度GSE1180地区リバプール(英)GE夫妻と

大変有意義な一週間であったことを申し上げ、国際協議会の報告といたします。

2009～10（大塚年度）ガバナー補佐候補者名

第１グループ
鈴木子之吉
（浦和東RC）

第２グループ
吉野弘芳
（浦和西RC）

第３グループ
林　正憲
（大宮中央RC）

第４グループ
小宮勝男
（岩槻RC）

第５グループ
星野　賢
（上尾北RC）

第６グループ
染谷英壽
（春日部RC）

第７グループ
金沢利幸
（久喜菖蒲RC）

第８グループ
青木伸翁
（越谷東RC）

第９グループ
加藤修三
（草加イブニングRC）

第10グループ
大熊正道
（三郷RC）

第11グループ
田中徳尚
（川口RC）

第12グループ
長谷川春一
（戸田RC）

IM 報告　第１・第２グループ 合同インターシティ・ミーティング

テーマ「今こそロータリー・・・・学ぼう奉仕の心」

2009年１月24日（土）／浦和ロイヤルパインズホテル

IM 実行委員長　第１グループ　**高柳　和之**

2009年１月24日（土）、浦和ロイヤルパインズホテルにおいて第１・第２グループ合同のIM が行われた。旧浦和与野地区を拠点とする地域であり、参加者300名を超える大規模な催しとなった。地区内では、昨年11月に第９グループが先陣を切って開催したのに続いて２番目、年が明けてからは最初の IM である。テーマは『今こそロータリー・・・・学ぼう奉仕の心』である。

当日は朝のうちは小雪がちらつく空模様であった。『IM の日は雪』と言われる通り、今回で４年連続の雪と思われたが、ほどなく雨に変わり開始時刻にはそれもすっかり上がっていた。

第１部は講演会、第２部は懇親会という２部構成の IM である。

定刻の14時。第２グループ井上正巳ガバナー補佐（さいたま中央 RC）の点鐘により第１部の幕を開けた。岩渕均ガバナーは、「今こそ変革のチャンスだ」との挨拶。“CHANGE”と“CHANCE”は一文字違い、それも“CHANGE”のＧの右下の小さなＴがあるかないかだけの差であるとのお話。

そして講演会。講師は元大蔵省財務官で現早稲田大学教授、ミスター円の異名を持つ榊原英資氏、『今、日本、どうなる、どうする・・・・政治経済の行方は』のテーマで90分の熱演。時期を得た話題だけに参加者は真剣に聞き入っていた。講演会終了後、第１グループ久保和夫ガバナー補佐（浦和ダイヤモンド RC）の点鐘で第１部が終了した。

休憩時間を挟み、第２部は新年賀詞交換会を兼ねた懇親会である。ゲストスピーチは相川宗一さいたま市長、気力体力とも充実し前向きで力強い話をされた。しばしの歓談時間の後、アトラクションは尺八と琴の演奏。東京芸術大学を卒業されてまもない妙齢の女性デュオが登場。耳に馴染んだ曲を現代風にアレンジし、心地よい響きを奏でた。

続いて、初企画の大抽選会である。10万円相当の豪華旅行券を目玉に、折りたたみ式自転車をはじめ30点ほどのバラエティに富んだ賞品、さらにはガバナー賞とガバナー補佐賞も特別賞として賞品に加えられた。

番号の書かれた抽選券の半券を回収し、ガバナー補佐が抽出する。当たった人は皆一様に子どものような無邪気な笑顔である。裏を明かせば、この抽選会は、失礼ながら、後半に帰ってしまう人の足止めの方法として企画されたものであったが、多くの人に喜んでもらえ盛り上がり、予想以上の効果であった。

そして、熱気も冷めやらぬ中、結びの時を迎えた。今年１年、不景気を吹き飛ばし、健康で実り多い年になるよう誓い合い、第１・第２グループの IM はお開きとなった。

IM 報告

第４グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「クラブ活性化への取組」「子供の死亡率低下への挑戦」

2009年２月２日(月)／ラフォーレ清水園

第４グループガバナー補佐　荒井　伸夫

２月２日大宮区のラフォーレ清水園にて、第４グループのIMおよび新年合同懇親会を開催しました。当日は、大勢のお客様や第４グループロータリアン総勢200名のご参加を頂き、皆様のご協力により成功裏に終了することができました。この場を借りて厚く御礼申し上げます.

IM 第１部「クラブ活性化への取組」

ガバナー公式訪問で岩渕ガバナーと一緒に第４グループ内８クラブを訪れましたが、各クラブとも会長幹事を中心にして素晴らしい活動を展開されており、これをガバナーと私だけに留めておくのはもったいないと思いました。そこで、今年のIMは、各クラブの特色ある活動をご紹介したくその発表の場とすることにしました。中村直前ガバナーの基調講演の後、８クラブの会長さんに活動報告とクラブ活性化への思いを個性豊かに語っていただきました。

IM 第２部「子供の死亡率低下への挑戦」

李東建RI会長は、「子供の死亡率を低下させよう」と熱く訴えかけてきましたが、物質的な豊かさに慣れ親しんできた日本では、なかなかその意味を実感できないのが現状でしょう。そこで、経験豊かなunicef様から世界の子供たちの置かれている現況をビジュアルにご講演いただき、その後、第４グループ全員で取組んでいるエコキャップ収集活動の現状―半年で、360万個、28tのCO_2削減、4,500人分のポリオワクチン購入―を報告しました。キャップ収益金をＲ財団ポリオ撲滅基金へ寄贈し、また、unicefへも寄付金を贈呈しました。

新年合同懇親会

埼玉県警防犯指導班の婦警さんによる振り込め詐欺被害防止の寸劇で始まった新年合同懇親会も、バナナの叩き売りまであっという間に過ぎ、楽しい時を共有することができました。出席者のほとんどが最後まで残って頂けたのが印象に残りました。

IM 報告

第３グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「今、できることは？」

2009年２月５日(木)／ラフォーレ清水園

第３グループ　ガバナー補佐　恵川　一成

第３グループのIMは２月５日（木）清水園にて、岩渕均ガバナー・さいたま市長相川宗一様（代理平田利夫様）・㈳さいたま中央青年会議所理事長　江原大輔様・㈶R米山記念奨学会事務局長　坂下博康様・パストガバナー・地区役員の多くのご来賓のご臨席を頂き、又各クラブ大勢の会員の出席を以って開催されました。

第３グループは、RIの強調事項の１つであります『水保全』を深刻に受けとめ、各クラブがカンボジア王国シェムリアップ州へ井戸を１本づつ（６本）贈呈しました。

講演では、ジャーナリストの二木啓孝氏による【現代の世相】私の取材ノートからと題して、政治・経済・犯罪等色々なジャンルの話を伺いました。軽快な口調で時間の過ぎるのを忘れるほどでした。

埼玉女子留学生日本語弁論大会で優勝しました、ロータリー米山記念奨学会　学友の　王晨さによる《私の留学生活》あなたは日本が好

きですか？と題して、「日本人と中国人の価値観の違いを指摘した上で、無理やり統一しようとか優劣をつけるのではなく、その違いをお互い素直に認め、尊重した上で交流するのが大切ではないでしょうか」。と最後に「祖国である中国と愛する日本が仲良く付き合っていけますように」と感動的な話でした。

新年合同大懇親会では、楽しく時間をすごし、アトラクションでは曽我辺靖子舞踊団によります“フラメンコ”で盛り上がりました。目的であります会員相互の親睦と面識を広め、会員にロータリー情報を伝ええることができたなら幸いです。

IM 報告

第８グループ インターシティ・ミーティング

テーマ「ロータリーと青少年」

2009年２月７日（土）／越谷コミニュテイセンター大ホール

第８グループ　ガバナー補佐　稲垣　勝三

当年度は地区の重点課題である「公共イメージの向上」を最大のテーマとして、IM を実施したいと実行準備会に諮ったところ、発表の場の少ない市内の中学校の吹奏楽の演奏会を開催して、子供達、父兄、その他市民の皆様と一緒に楽しみながら、ロータリーの活動を PR したらどうかと提案があり、「ロータリーと青少年」をテーマに実施する事になりました。

直ちに実行委員会（ホストクラブ越谷北 RC）を組織し、小河内実行委員長のもと越谷市役所、越谷市教育委員会、越谷ユネスコ協会、㈶越谷コミニュテイセンターを何度も訪問し後援をとりつけました。特に、越谷市中学校音楽顧問教師会の先生方には、実施にあたり大変お世話になりました。

実施日の２月７日土曜日、会場は1,700名収容のコミニュテイセンター大ホール、打ち合わせを重ね準備万端当日を迎えました。岩渕均ガバナー、板川文夫越谷市長、吉田茂教育長他来賓をお迎えしての公開例会には、多少の空席が見られましたが、第２部の吹奏楽演奏会が始まる頃はほぼ満席となりました。子供達の生き生

きとした演奏（上手なのにビックリ）で会場は盛り上がり先生方も満足なお顔。私も思わず「よかった、よかった、大成功」と自画自賛、演奏会最後のプログラム参加８校生徒全員による合同演奏、行進曲「真澄み」はホール全体を揺るがす盛り上がりで特に感動しました。

PR も子供の死亡率低下が重要テーマである事、ポリオ、その他の活動、地域での活動、市民の皆様に私達の活動が十分に理解頂けた事と思います。

結びに、この IM 実行にあたり、関係した全ての皆様に感謝致します。

ありがとうございました。

2009学年度米山記念奨学生選考面接試験

米山記念奨学部門委員長　菊池　隆喜

１月17日（土）大宮ソニックシティで、2009年度米山記念奨学生の選考面接試験が行われました。当地区に於いては奨学生採用人数35名になり、継続学生7.5名を引いた新規27.5名の選考面接試験を実施致しました。当日の奨学生の皆さんは全員緊張気味で思うような、面接が出来なかった学生も居ましたが、無事に終了しました。

当日は面接選考試験官のガバナー・パストガバナー・ガバナーノミニーの皆様、又米山委員会の皆様には、朝早くから大変有難うございました。

皆緊張して面接を受けていました

感謝状贈呈並びに知事表敬訪問

新世代部門委員長　金杉　光左生

2009年（平成21年）1月31日（土曜日）　社会　★（18）

就労体験協力で知事を表敬訪問

国際ロータリーメンバーら

県教委の高校生感動体験プログラム事業に就労体験先五百六十五事業所を紹介するなど協力した国際ロータリーの真下和男、岩渕均両ガバナーが三十日、上田清司知事を表敬訪問した。

国際ロータリーの協力で、実際に体験活動を実施したのは二百六十五事業所に上り、県内十二高校、千九百七十人の生徒が五日間の体験で社会を学ぶきっかけを得た。真下ガバナーは「生きる力を育てる事業に感銘を受けた」と、協力の理由を報告。岩渕ガバナーは「職業を通して社会貢献するのが私たちの使命」と、協力に充実感を漂わせた。島村和男県教育長からは両ガバナーに感謝状が贈られた。

実際に就労体験をした妻沼高校の都丸委立君、八潮高校の山崎隆史君も活動の感想を上田知事に伝えた。（江田崇）

高校生2人と共に上田知事（前列左から2人目）を表敬訪問した国際ロータリー第2770地区のメンバーら＝30日午前、知事応接室

埼玉新聞　2009年1月31日より

過日行われました「自分発見・高校生感動体験プログラム事業」協力に対して県教育長より国際ロータリークラブ2770地区岩渕ガバナーに感謝状の贈呈が行われました。

当日は就労体験生を代表致しまして八潮高校生、並びに父兄も同席し教育長、県知事に体験談を発表して頂きました。

今年度は地区内、幸手高校・蓮田高校・上尾鷹の台高校・桶川西高校・上尾橘高校・八潮高校の６校が指定を受け831名の生徒が就労体験をする事が出来ました。これこそロータリー活動の中でも根幹をなす、新世代への奉仕活動、青少年の健全育成への助力と考えるものです。

この素晴らしい事業に、ご尽力を頂きましたロータリアンの皆様に感謝を申し上げご報告と致します。

第７回外国人による日本語スピーチ大会に地区青少年交換学生が参加

浦和 RC　朝日　寿一

川口北 RC ホストのアレックス・ウェルク君

国際親善と異文化理解を目的としたさいたま市及び㈶さいたま市国際交流協会主催の第７回外国人による日本語スピーチ大会が平成21年２月１日（日）、さいたま市コムナーレ10階浦和コミュニティセンター多目的ホールに於いて開催され、アメリカをはじめ中国、韓国、ニュージーランド、フィリピン、タイ、ルーマニア、タジキスタン出身で、さいたま市在住、在勤、在学の外国人11名が主演しました。そして、我が地区より青少年交換留学生のアレックス・ウェルク君とスティーブン・スクラー君の２名が参加しました。

テーマは「日本の食事について」ということで、トップバッターとして川口北 RC ホストのアレックスが登場、「アメリカのパイと日本のもち」の題名でスピーチ。来日当初はアメリカと日本の食事の違いに大変苦労したが、「郷に入っては郷に従え」のことわざの通り、今では日本食が好きになり、中でも日本の「おもち」大好きとヂェスチャー入りで熱演しました。一方、浦和 RC ホストのスティーブンは題名「ファストフードとおいしいもの」で第８番目に出演、世界的に有名なマクドナルドやケンタッキー・フライドチキンをはじめ、日本の吉野家やサイゼリア等の例をあげてファストフード・チェイン・レストランの存在、特に“味”と“値段の安さ”を力説、大声で文章を読み上げる形にはなったが英語固有名詞に対する日本語の発音もうまくいって内容も理解され、聴衆の笑いと大きな拍手を送られた。クラブの例会でのリハーサルの時と異なり、特訓の成果がかなって数段上達したスピーチでした。残念ながら二人共熱演の甲斐なく、入賞出来ませんでしたが、ロータリーの PR はもとより立派に小さな親善大使の役目を果したと思います。最後に、岩渕地区ガバナー、浦和ロータリークラブ星野国際奉仕委員長、宮崎青少年交換委員長、朝日カウンセラーが両君のサポーターとして大会に参加しました。

新会員の声

新コーナーへの投稿　よろしくお願い致します。

新コーナーとして『新会員の声』を募集致します。
ロータリー入会３年未満の新会員のロータリーに対するさまざまな意見を載せたいと思います。是非、ご投稿よろしくお願い致します。なお、文字数は400字程度でお願い致します。
このコーナーは、ロータリーの友「新樹の声」の2770地区版です。日頃感じていることをそのまま述べていただければ幸甚です。

新会員の声

人間の心に国境なし

浦和ロータリークラブ　松崎　朝次

仕事を通して浦和ロータリークラブに入会させて頂き１ヶ月、毎年恒例と言うクリスマス夜間例会に参加。この日は幸い東京湾クルージング、例会後美味しいご馳走、アルコール飲み放題、そんな中隣の会員に韓国訪日団のホームステイの交渉に鈴木役員が。何も知らない私は、ほろ酔い気分で、ちょっと声をかけたばかりに、韓国訪日団の女子高生二人を６日間預るお話しに。正月休みも束の間、その日を迎えました。クラブのウェルカムパーティにて、通訳の方よりお二人の紹介後、片言の日本語での自己紹介、二人共良い感じの方でホッと致しました。６日間の日程の中味はなかなかのもので、正直ゆっくり出来る時間も少ない状況、私共 HF としては家族が増え家の中が急に賑やかになり愛犬のチロルまでが大変な喜びに。日を重ねる毎にすっかり家族の一員に。帰国前日の夜、慌しい日々だったけど、今度は大学生になられて、もっと時間に余裕を持ってまた是非遊びに来て頂く事を約束し就寝。翌朝山内幹事のお世話でラフレさいたまへ見送りに、出発前、訪日団60名岩渕ガバナーロータリー関係者、HFの家族が一同に集合､今後の日韓相互世界の平和を祈念するセレモニーが行われ、その後バスに乗る。

それまでは常に笑顔だったお二人が、イザ出発の間際になり、バスの中から手を振り乍ら号泣、冷たい風をよそに、私も本当の我が子を送るような複雑な思いに。僅か数日の出会いで、人間としての心に国境はない事を改めて痛感させられ、私共と致しましては、この上ない貴重な体験をさせて頂いた事に、ロータリークラブの各役員の皆々様に心より感謝を申し上げます。

良き師・良き友

久喜菖蒲 RC　幹事　野原　　宏（種苗卸）

平成18年に65歳で本会に入会させていただきました。父が創立会員で93歳で死去するまでお世話になった御縁ですぐに仲間にいれていただきました。青年会議所や法人会でご一緒させていただいた方はすでにロータリアンとして大役をはたされて黄色いプレートを胸に壇上におられる方が多勢おられます。新会員として研修につとめ一人前に早くなるべく努力中です。先日の職業奉仕研修会の深川純一先生の御講演には大変感銘を受けました。その折お話にありました佐藤千寿様のこと（ロータリーの友２月号16頁の掲載）が印象深かったのですぐに会社の一角にある石洞美術館を訪ねてみてなるほどまさしく日本を代表するロータリアンのお一人であることを実感しました。遺影を前にして人生最後まで良き師良き友をもち堂々の人生をおくりたいものと覚悟をあらたにしました。こんな素晴らしい人の集まりに御縁をいただきこのような出合の場もすべてロータリーのおかげと感謝しております。ありがとうございました。

合掌

ロータリークラブに入会して

大宮南ロータリークラブ　押目　重夫

昨年10月に大宮南ロータリークラブの仲間に入れていただきました押目重夫と申します。入会前はロータリークラブに関する知識はゼロで、漠然と「地域の有力者の集まりで自分には全く縁のない世界」と思っていました。まさか自分に「ロータリーに入らないか？」と声をかけていただけるとは夢にも思っておりませんでした。初めての例会は本当に緊張しましたが、会員の皆様の温かさと見識の広さを強く感じました。私のような若輩者に対しても、人生の大先輩方がとてもやさしく声をかけて下さり、歓迎して下さいました。このような素晴らしい方々との出会いに恵まれ、ロータリークラブに入会して本当に良かったと思っております。１月にはインターアクトの大行事に参加させていただきました。私も学生時代に留学経験があり、久々に国際的な雰囲気を味わうことができました。今後はロータリークラブの活動を通じて、先輩方の背中を見ながら、私の信条である「地域貢献」に更に深く取り組むとともに、将来的には国際的な感覚・視野を持つ人間になりたいと思っております。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

ロータリーで知る世界の友

上尾西ロータリークラブ　水野　正男

私が上尾西ロータリークラブに入会して、ちょうど一年が経ちますが、入会時に上尾西の皆様にも申し上げた通り、私どもの取引先であるイスラエルの会社のロータリークラブ会員に入会を勧められ、その気になっていたところ、タイミング良く地元の星野一雄会員より上尾西に入会の誘いをいただき、二つ返事で入会させていただきました。仕事仲間のイスラエルの会員が言うことには、金を稼ぐだけでは半人前で、社会に奉仕・還元することにも同様に励まなければならないという理由ですが、同時に彼はロータリーの仲間とルーマニアの土地を共同購入していて、その土地はこの５年の間に少なくとも20倍の価格になるといった”うまい話“もロータリーの会員ならではというふれこみでした。残念ながら今のところ、上尾西ではそんなうまい話もなく、毎週例会に出ること、記念式典に出席して会員同士の親睦を深めること、近所の川を掃除したり、ロータリーの森の草むしり、交換留学生の世話をすること等々を通じて、会の活動を少しづつ理解し始めているところであります。最近にはネパールのバグルンパニという電気も通じていない山岳地帯の学校を訪問する機会があり町内会レベルとは違った、活動の幅の広さも感じているところです。

ボランティアの奉仕活動をするといっても、その原資を稼ぐことにまだまだ必死な私のような会員から見ると、会員の中には、資産家の生まれで、もっとゆったりと人生を過ごしている会員、若くして稼ぎのいい専門職になり経済的に余裕を見せる会員、一代でダイナミックな事業を築き上げ意気揚々とした会員等々、いろいろなパターンがあるように感じられますが、実際、私よりももっと若い会員などを引きつけるには、実業に役に立つようなテーマがうまく会の活動に組み込まれていけばいいのかなと思っています。今のところ、私はまだ、会員の皆様に，より効果的なお金の使い方というものを、少しずつ教えていただいている段階ですが、とりあえず親睦を深めるだけでも充分、会の有難みを感じています。毎週、水曜日の例会のひと時は、私にとっては仕事から解放されるリラクゼーションの貴重なひと時となっています。

完

連載 第九回 ロータリー情報ニュース

「地球上からポリオが無くなる日も遠くない」

ロータリー情報委員長　瀧田　和雄

2008年6月LAでの世界大会本会議場で、各国から出席した大勢の参加者にビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が国際ロータリーに1億ドルをポリオ撲滅活動に提供されたニュースは、会場に居た世界中のロータリアンから会場も割れんばかりの喝さいで迎えられました。たまたま参加しておりました私も驚きを禁じえませんでした。

しかし、この話題は続きがあったのです。大塚ガバナーエレクトが参加していたGETS（サンディエゴ国際協議会）で新たに2億5500万ドルの寄付を申し出たことを、「友」インターネット情報で知りました。

サンディエゴ国際協議会において、野生ポリオウイルスが現存する4か国（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）のガバナーエレクトとの会合を終えたビル・ゲイツ氏は、本会議の席上、新たな補助金の提供を発表しました。**「ポリオウイルスの完全な根絶は難しく、今後も難を極めることでしょう。撲滅という目標に私自身が深くかかわるようになったのは、撲滅を目指して努力を傾けるロータリーのひたむきな姿に深い感動を覚えたことが大きな理由です」**と述べました。今回受領した補助金は、ロータリー創設以来104年の歴史において最も高額なものです。2007年11月にも、ロータリーが同額を集めることを条件にゲイツ財団から1億ドルの補助金を受領していますが、今回も新たに1億ドルの募金を上乗せするという条件で新たな補助金を受けることになります。RIはさらに1億ドルの募金を目標に掲げ、**「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」**と銘打って、2012年6月30日までに上乗せ資金を調達していくことになります。ロータリーは既に約7,300万ドル（うち現金寄付6,200万ドル、誓約1,100万ドル）を集めています。この記事は既に会員各位には1月28日のインターネット速報で配信させていただいておりますので、大半の皆様はご承知のことと思います。

これまでに、我々2770地区のロータリアンは今年度30ドルと200ドルの個人目標に努力を重ねてまいりましたが、今後3年間に新たに2億ドルに向け、会員は基より一般の人々を対象に募金活動を実施するよう奨励しています。これから開催される予定のPETS・地区協議会・各種セミナーなどでこの問題に対する取り組みを、地区として・クラブとして・家族としていかに目標に向けて実行してゆくかが問われることでしょう。RIが、わが地区がロータリー悲願の「ポリオ撲滅運動」が終焉を迎えるまで努力・協力を惜しまずに参加してゆきたいものです。

連載

ロータリーの職業倫理訓逐条解説（9）

全分野の職業人を対象とするロータリー倫理訓

職業倫理委員長　青木　伸翁

第8条　真の友人は互いに何も要求するものではなく、利益のためにみだりに友人の信頼を利用することはロータリーの精神と相容れないばかりか、その倫理訓にもとるものと考えるべきこと。

シカゴクラブ第2代会長アル・ホワイトが弁理士のドナルド・カーターにクラブへの入会を勧めた時、カーターは、「ロータリアン同士で原価取引をし、会員は互いに親類付き合いをしよう、会員間では儲けてはいけない」という当時のロータリーの方針に疑問を投げかけ、「ロータリアンだけが得をしてロータリアン以外はどうでもいいのか、それならロータリーはエゴイズムの塊ではないか。世のため他人のためなど何も考えないで、自分たちだけがいい気持になっているようなそんなクラブには入る必要はない」と厳しく批判しました。この報告を受けたロータリーの創始者ポール・ハリスはなるほどと反省するとともに、あるアイディアが浮かびます。

そして、1906年1月からシカゴクラブに掲げていた

第1条、会員の職業上の利益を助長せしめること。

第2条、親睦を助長せしめること。

という定款に次の3条を付け加え改正したのです。

第3条、シカゴ市民の利益を増進し、その市民の中に市に対する誇りと忠誠の精神を普及すること。

こうして一業一会員制で選ばれた職業人の単なる親睦団体だったロータリーに、われわれの親睦のエネルギー（親睦活動）はひとえに世のため他人のため役立つ基になるんだとして、そこで初めて対社会的な自覚が入ってくることになったのです。いわゆる「奉仕概念の芽生え」と言われるものです。1906年秋のことでした。

ポール・ハリスは「奉仕」の大切さを会員に周知するため、それまで2年間遠慮して他の人に譲っていた会長に立候補し1907年度の会長になります。そして、シカゴクラブとして初の団体奉仕と言われる、あの有名な「公衆便所設置運動」をはじめます。しかし、なかなか奉仕の大切さを会員に理解してもらえず、既に決まっていた役員の任期は1年という「ワンイヤールール」を破り、会員にお願いし1908年度も会長を務めています。

この8条は、ロータリーの草創期にあったロータリアン同士の物質的相互扶助を反省し精神的相互扶助の大切さを説いているのです。そして、この精神的相互扶助の思想が発展し職業奉仕理念に、さらにそれが発展して「ロータリーの奉仕哲学」として実を結んだと言えるのではないでしょうか。

次回4月号は

第9条　社会秩序の立場から、他人が絶対に認めないような不正な方法によって機会を利用し、これによって得た人の成功を正当または倫理的なものと考えてはならないこと。また、物質的成功を得るがため、人が倫理的に問題ありとして退けるような機会に乗ずるがごときことをしてはならないこと。

RI会長賞のエントリー締め切り迫る

地区締め切り：3月15日(日)

エントリーの必須条件は二つです。（5つの選択条件あり）

1）子供の死亡を低下させる奉仕プロジェクトを行う
地区では、広い解釈で受付します。

2）会員純増一人

各クラブの応募を、お待ちしております。

子供の死亡率低下の具体例

（例えば、シートベルトや煙探知機が無いばかりに、安全な遊び場が無いために、医療サービスを受けられないほどの貧しさゆえ、毎日、世界のどこかで子供が死亡しています。従って、シートベルトや煙探知機や安全な遊び場でも結構です。）

ロータリー財団

大口寄付 686937.7$

田中作次
（八潮）
平成20年12月17日

大口寄付 14,000$
ベネファクター(2)

大塚信郎
（上尾）
平成21年1月16日

M・P・H・F(8)

鈴木子之吉
（浦和東）
平成21年1月27日

M・P・H・F(8)

秋山　博
（川口西 RC）
平成21年1月29日

M・P・H・F(5)

國谷昭吾
（浦和北東）
平成21年1月23日

M・P・H・F(5)

石野榮一
（越谷南）
平成21年2月12日

M・P・H・F(4)
ベネファクター(1)

田中徳尚
（川口）
平成21年1月20日

M・P・H・F(4)

宮城勝治
（岩槻中央）
平成21年1月8日

M・P・H・F(4)

金子　努
（浦和北東）
平成21年1月23日

M・P・H・F(3)

末次哲朗
（岩槻東）
平成21年1月20日

M・P・H・F(3)

内田康信
（浦和北東）
平成21年1月23日

M・P・H・F(3)

竹井康悦
（浦和北東）
平成21年1月23日

M・P・H・F(3)

井上正巳
（さいたま中央）
平成21年1月29日

M・P・H・F(2)

伊藤高太郎
（川口南）
平成21年1月8日

M・P・H・F(2)

橋本成喜
（岩槻中央）
平成21年1月8日

M・P・H・F(2)

加藤佳孝
（上尾）
平成21年1月22日

M・P・H・F(2)

成田光安
（鳩ヶ谷）
平成21年1月22日

M・P・H・F(2)

高橋照司
（浦和西）
平成21年1月23日

M・P・H・F(2)

遊馬幸雄
（さいたま中央）
平成21年1月29日

M・P・H・F(1)

池田岩夫
（幸手中央）
平成20年12月4日

M・P・H・F(1)

山崎和雄
（岩槻東）
平成21年1月20日

M・P・H・F(1)

水野泰男
（越谷）
平成21年1月23日

M・P・H・F(1)

佐藤浩一
（川口西）
平成21年1月29日

P・H・F

長谷川良則
（幸手中央）
平成20年12月4日

P・H・F

安田　恒
（浦和）
平成20年12月16日

P・H・F

副島文夫
（岩槻中央）
平成21年1月8日

P・H・F

町田信行
（浦和北東）
平成21年1月23日

P・H・F

井原　正
（さいたま中央）
平成21年1月29日

P・H・F

田澤俊明
（さいたま中央）
平成21年1月29日

P・H・F

真野多加史
（春日部西）
平成21年1月29日

ベネファクター(1)

井橋吉一
（越谷）
平成21年1月23日

ベネファクター(1)

吉野弘芳
（浦和西）
平成21年1月23日

ベネファクター(1)

山内一浩
（浦和）
平成21年1月27日

ベネファクター(1)

小柳明雄
（杉戸中央）
平成21年1月30日

米山奨学会

米山功労者マルチプル(6)

森本　勇
（幸手）
平成20年12月29日

米山功労者マルチプル(4)

井上　功
（春日部南）
平成21年１月16日

米山功労者マルチプル(4)

白井義巳
（八潮）
平成21年１月21日

米山功労者マルチプル(4)

成田光安
（鳩ヶ谷）
平成21年１月22日

米山功労者マルチプル(3)

高木康夫
（幸手中央）
平成20年11月18日

米山功労者マルチプル(3)

中村次男
（浦和北東）
平成20年12月26日

米山功労者マルチプル(3)

伊藤高太郎
（川口南）
平成21年１月８日

米山功労者マルチプル(3)

山下良雄
（越谷中）
平成20年12月10日

米山功労者マルチプル(3)

山口玉江
（越谷中）
平成20年12月10日

米山功労者マルチプル(2)

根本邦通
（鳩ヶ谷シティ）
平成20年12月25日

米山功労者

菅野秀光
（幸手中央）
平成20年11月18日

米山功労者

徳竹秀介
（川口東）
平成20年12月24日

米山功労者

江原武男
（越谷）
平成20年12月25日

米山功労者

斉藤宮子
（春日部南）
平成21年１月16日

米山功労者

高橋賢太郎
（八潮）
平成21年１月21日

準米山功労者

金子善次郎
（浦和北東）
平成20年12月26日

準米山功労者

臼井俊英
（春日部南）
平成21年１月16日

準米山功労者

大辻信哉
（春日部南）
平成21年１月16日

準米山功労者

清水良順
（春日部南）
平成21年１月16日

準米山功労者

吉田とみ子
（春日部南）
平成21年１月16日

訃報 ◆ 謹んでお悔やみ申し上げます。

目黒靖淳 会員
（上尾西）
平成21年１月９日
享年87歳

河本順子 会員
（大宮東）
平成21年１月28日
享年56歳

望月　憲 会員
（大宮西）
平成21年１月31日
享年80歳

新会員

大島直幸
（越谷北）
平成20年11月26日入会
㈱シフレ
雑貨卸販売

大濱裕広
（越谷北）
平成20年11月26日入会
㈱ベルウエーブ
火災保険

佐藤　要
（越谷北）
平成20年11月26日入会
㈲センジュドー
薬局

本間睦人
（越谷北）
平成20年11月26日入会
清和土木㈱
土木

仁多見英一
（越谷東）
平成20年12月11日入会
宗教法人　東漸院
仏教

伊藤明里
（大宮北）
平成21年１月６日入会
エイテスリンケージ㈱
建築設備・エコシステム

大山安司
（八潮イブニング）
平成21年1月7日入会
議員

小林せつ子
（八潮イブニング）
平成21年1月7日入会
㈲小林バンケット
サービス業

飯田伸夫
（草加南）
平成21年1月8日入会
㈲ブライト
電気工事設備工事

國分洋太
（川口北東）
平成21年1月13日入会
㈱国商
住宅建築

鈴木真琴
（大宮中央）
平成21年1月13日入会
㈱Treasure Vit
コールセンター

三浦孝行
（川口北東）
平成21年1月13日入会
日本相撲協会 湊部屋
相撲

向　之徳
（春日部イブニング）
平成21年1月13日入会
㈱ロビンソン百貨店
百貨店

齋藤良一
（鳩ヶ谷）
平成21年1月15日入会
㈱フォーユアヘルスハトポッポ薬局
調剤薬局　薬販売

松本　岳
（浦和北東）
平成21年1月20日入会
ふたばクリニック
外科医

田村寿子
（越谷東）
平成21年1月22日入会
社会福祉法人 越寿会
老人ホーム事業

坂本　宣
（大宮中央）
平成21年1月27日入会
日興コーディアル証券 ㈱大宮支店
証券

文庫通信（257号）

「ロータリー文庫」は、ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。　以下資料のご紹介を致します。

地区大会記念講演から

◎「異文化の架け橋」柴田恭子 2008 2p(D.2610)
◎「浪漫なしで生きていけない」三輪休雪 2008 10p（D.2710）
◎「地方発!! 人づくり国づくり」川勝平太 2008 12p（D.2710）
◎「いくつになってもその気になれば一歩踏み出せる」名取美和 2008 4p（D.2820）
◎「愛と勇気と感動と」加藤タキ 2008 12p（D.2550）
◎「日本の底力」麻生太郎 2008 12p（D.2650）
◎「人生って支えあえっこ」牟田悌三 2008 10p（D.2700）
◎「ネット社会と子供の危機～心の発達は大人しだい～」柳田邦男 2008 19p（D.2700）

［上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）］

ロータリー文庫
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル3F
TEL（03)3433-6456　FAX（03)3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp
開館＝午前10時～午後5時
休館＝土・日・祝祭日

ロータリー文庫からのお知らせ

ロータリー文庫のホームページが新しくなりました

体裁を一新するとともに、分かりやすく利用しやすくなりました。文献のコピーが注文できます。また、デジタル化した文献「＊」はダウンロードできます。

どうかお気軽にご利用ください。

2008～'09年度　1月の会員数及び出席報告

グループ	クラブ名	2008年7月1日現在	内女性	当月末会員数	内女性	当月入会	当月退会	増減	当月出席率	当月順位	通算順位
第一グループ	浦和	102	2	104	1		1	2	96.93	5	7
	浦和東	73		72				−1	90.91	21	23
	浦和南	37		37					93.55	10	11
	浦和中	44	2	43	2			−1	79.26	61	26
	浦和ダイヤモンド	19	10	21	11			2	97.60	2	4
	第1グループ計	275	14	277	14	0	1	2	91.65		
第二グループ	浦和北	79	6	77	5			−2	95.00	7	9
	さいたま中央	48		51	2			3	91.67	15	38
	浦和西	14	3	13	2			−1	82.69	49	20
	浦和北東	40	1	39		1		−1	83.33	45	71
	さいたま新都心	38		40				2	97.37	4	19
	浦和イブニング	11	1	10	1			−1	80.00	57	68
	第2グループ計	230	11	230	10	1	0	0	88.34		
第三グループ	大宮	59		61				2	86.59	35	42
	大宮南	35	5	36	5		2	1	86.11	36	37
	大宮中央	58		56		2		−2	79.83	59	77
	大宮南東	8	2	8	2				87.50	33	39
	大宮シティ	56	6	58	6			2	83.77	44	52
	さいたま欅	21		22	2			1	77.27	64	56
	第3グループ計	237	13	241	15	2	2	4	83.51		
第四グループ	大宮西	46		47			1	1	74.51	71	73
	岩槻	35	3	38	4	1		3	64.00	78	81
	大宮北	32	1	31	1	1		−1	87.93	30	50
	大宮南西	17	1	18	1		1	1	66.66	77	79
	大宮東	41	1	39	1		2	−2	97.44	3	1
	岩槻東	34		32			1	−2	83.06	48	57
	大宮北東	17	2	21	2			4	82.53	50	63
	岩槻中央	19		19					91.17	19	17
	第4グループ計	241	8	245	9	2	5	4	80.91		
第五グループ	上尾	44		46				2	81.52	52	51
	鴻巣	36	1	35			1	−1	94.29	9	22
	桶川	28		29				1	80.17	56	45
	上尾西	52		50			1	−2	88.39	28	18
	北本	8		8					62.50	79	74
	上尾東	26		25				−1	73.00	74	69
	上尾北	32		31				−1	91.67	15	21
	鴻巣水曜	33	3	31	3			−2	76.54	65	60
	桶川イブニング	18	2	18	2		1		76.38	66	58
	第5グループ計	277	6	273	5	0	3	−4	80.50		
第六グループ	春日部	45		44				−1	92.30	14	25
	杉戸	29	2	27	2			−2	79.96	58	62
	春日部西	37	4	35	3			−2	87.85	31	59
	庄和	24		22			2	−2	79.10	62	46
	春日部南	28	5	27	5		1	−1	73.81	73	75
	春日部イブニング	18	1	22	1	1		4	89.39	26	28
	杉戸中央	22		24		1		2	75.00	69	70
	第6グループ計	203	12	201	11	2	3	−2	82.49		
第七グループ	幸手	47	3	45	2	1	3	−2	80.55	55	54
	蓮田	31		30				−1	83.33	45	48
	久喜菖蒲	56	2	55	2		1	−1	87.28	34	35
	栗橋	15		14				−1	93.17	12	36
	白岡	5	1				5	−5			82
	幸手中央	25	1	25	1				74.00	72	66
	第7グループ計	179	7	169	5	1	9	−10	83.67		
第八グループ	越谷	77		78				1	95.15	6	3
	越谷南	47	2	45	2			−2	75.60	68	65
	越谷北	45		53				8	90.68	22	31
	越谷東	45	4	47	5	1	1	2	78.30	63	44
	越谷中	17	1	17	1				62.50	79	80
	第8グループ計	231	7	240	8	1	1	9	80.45		
第九グループ	草加	23	2	22	2		1	−1	59.71	81	78
	八潮	49	6	47	5		3	−2	90.43	23	40
	草加南	18	2	19	2	1		1	84.74	42	27
	八潮イブニング	26		28	1	2		2	88.30	29	29
	草加イブニング	11		11					81.82	51	53
	八潮中央	17		16			1	−1	98.44	1	6
	草加中央	27		27	1		1		91.50	18	13
	八潮シティ	18		18					75.92	67	72
	草加21	10	4	10	4				95.00	7	2
	第9グループ計	199	14	198	15	3	6	−1	85.10		
第十グループ	吉川	31	2	32	2			1	84.38	43	30
	三郷	31	2	30	2			−1	89.43	25	41
	三郷中央	25		25					81.52	52	15
	三郷ウェンズデー	19	1	20	2			1	86.08	37	43
	松伏	12	2	12	3	1	1		91.67	15	8
	第10グループ計	118	7	119	9	1	1	1	86.62		
第十一グループ	川口	73	11	77	11			4	71.49	75	61
	鳩ヶ谷	30		33	1	1		3	84.75	41	55
	川口東	21	1	22	1			1	83.33	45	14
	川口・鳩ヶ谷武南	30	2	29	2			−1	85.18	40	49
	川口モーニング	28		29				1	87.67	32	34
	川口南	32	6	31	5			−1	75.00	69	76
	鳩ヶ谷シティ	19	2	16	1			−3	79.62	60	33
	第11グループ計	233	22	237	21	1	0	4	81.01		
第十二グループ	戸田	52	5	53	6			1	85.30	39	47
	蕨	32	1	32	1				85.53	38	24
	川口西	32	4	28	4			−4	80.77	54	64
	戸田西	33	3	32	3		1	−1	91.10	20	32
	川口北	34		35				1	92.70	13	5
	川口北東	37	3	37	3	2	1		89.85	24	12
	川口中央	14	1	16	1			2	93.34	11	10
	川口むさし野	14		16				2	89.06	27	16
	戸田イブニング	21		21					68.75	76	67
	第12グループ計	269	17	270	18	2	2	1	86.27		
	地区合計	2,692	138	2,700	140	16	33	8	84.21		

※8／27付　川口RC 7／1現在会員数を72名→73名に変更いたしました。

ていたが、今回ロータリアン有志が持主から買った邸宅にある石燈籠は、写真で見る限り新し過ぎるから、70年の風雪に耐えたオリジナルではなさそうである。

ポールは1947年に死亡し、子供の居ない未亡人はスコットランドに帰ることになった。未亡人は自邸をRIに買取ってもらおうとしたが、RIはこう言って断った。「我々はポールの思想は受継ぐけれど、彼の遺物は要らない」と。同様の話は、ポールの育ったバーモント州の家売買の時にもあった。地元ロータリークラブでは、RIに買入れを要請したが、これも断っている。地元クラブは取毀した材木を譲受けて、点鐘用木槌を多数作り、各地のクラブに配布した。

RIのポール執務室は生前のまま保存されているが、それ以外のポール関連グッズはないらしい。

私はこの話をこう解釈している。ヨーロッパのキリスト教寺院には、キリスト関連聖遺物が多く収蔵され、信者の崇拝の的になっているが、1番はキリストの高弟の遺骨である。ローマにはペトロの骨があり、ベネチアにはマルコが祀られている。スペインの北方には、ヤコブの遺体があって、サンチャゴ・デ・コンポステラには年に何百万人もの巡礼が訪れる。2番はキリストと接触した遺物で、彼のかけられた十字架破片、彼を刺した槍、彼を包んだ羊皮、彼の血を受けた杯等が存在する。聖遺物収集が始まったのはビザンチン帝国で、十字軍がコンスタンチノープルを占領した時、ヨーロッパ各地に持込まれて、大変な御利益があるとされた。聖遺物のある教会には信者が集り、必然的に御賽銭も入るから、教会としての格も上る。モーツァルトの「パルツィハル」やワグナーの「ローエングリン」はいずれもキリストの流れる血を受けた聖杯を守る騎士団長の名前で、前者は後者の父に当る。

結婚式で新婚カップル入場時の音楽は、ローエングリンのウェディングファンファーレだが、作家杉本苑子さんは疑念を抱いている。白鳥の騎士に危うい運命を救われた姫君は彼と結婚するが、誓いの言葉を忘れて夫の氏素姓を質問してしまい、夫が去って行く物語だから、縁起が悪いと言う理由である。しかしながら、永遠の愛なんて建前だけであり、女は約束を守らないのが一般だから、ワグナーの人生観を結婚式に肝に命ずるのも良い習慣であり、セレモニー屋の大ヒットと思っている。

「ニーベルンゲンの指輪」4部作を作ったワグナーはまともなクリスチャンではないのだろう。

RIの首脳部はヨーロッパの聖遺物騒ぎを良く知っていて、ロータリーもああなっては困ると考えた結果、ポールの遺物買入れを拒絶したのだろう。60年も経てば、ほとんど残っていないと判断し、旧邸譲受を了解したと思っている。

十字軍

西ヨーロッパのキリスト教国が、聖地エルサレムをイスラム教諸国から奪還することを目的に派遣した遠征軍のこと。1096年から約200年間に渡って行われ、1270年の聖王ルイの出征まで8回とすることが多いが異論もある。

第一回十字軍（1096～1099年）：セルジューク朝の圧迫に苦しんだ東ローマ帝国皇帝アレクシオス1世コムネノスの依頼により、1095年にローマ教皇ウルバヌス2世がキリスト教徒に対し、イスラム教徒に対する軍事行動を呼びかけ、参加者には免償（罪の償いの免除）が与えられると宣言した。この呼びかけに応えた騎士たちは、イスラム教徒支配下の都市を攻略し、1099年エルサレムの征服に成功。この十字軍の結果、シリアからパレスチナにかけてエルサレム王国などいくつかの十字軍国家が作られた。（Wikipediaより）

ロータリーエッセイの予定

(1) ポールへの興味
(2) メイフラワー号とハリス家の関係
(3) 独立戦争前後と宗教的不寛容排除
(4) ゴールドラッシュとポールの母方祖父
(5) 南北戦争と戦争絶対反対
(6) 大膨張時代とポールの青春遍歴
(7) ロータリアンへの教訓
(8) ポールがロータリーに求めたもの
(9) シカゴでの弁護士生活
(10) ポールのミドルネーム
(11) エマソンの思想とロータリー
(12) ポールの性格
(13) アメリカ史の魅力

ロータリーエッセイ

(9) シカゴでの弁護士生活

浦和ロータリー・クラブ　矢作　好英

ポール・パーシー・ハリスは5年間の放浪生活を送った後、シカゴで弁護士を開業したが、どんな仕事をしたのか、具体的な事件は判っていない。伝記著者はイギリス人で図書館の司書をしていた人だから、アメリカとイギリスの弁護士制度の違いもあって、良く知らないのだろう。

伝記では、刑事、行政、離婚は扱わず、会社関係、不動産、相続を主に仕事としていた、と書いている。ポールは1896年に開業し、RI初代会長になり引続き名誉会長に就任して、世界中を駆け廻っていたから、その頃は開店休業乃至は閉店に近い状態だったろう。従って、彼の弁護士活動は30年位と推測している。伝記では、全米法律家協会役員とかの役職を記しているのみで、我々としてはポールの弁護士生活は判断出来ないが、中退した大学から法学博士号を贈られている。

弁護士仲間でも、相手になってやり合って見ないと、敵の腕前や才能は判らない。

大別すると、弁護士成功の型は3種ある。

(1) 弁護士会の各種ポストを歴任し、日本弁護士連合会会長になったり、最高裁判所判事になる人。

これも一応の基準であり、元日弁連会長が不祥事を起して刑事訴追されそうになり、廃業を条件として不起訴にしてもらった例もあるから、弁護士のお手本と言う訳ではない。

(2) 大事務所を構え、大勢のサラリーマン弁護士を傭い、多額の収入のある人。この中から良く縄付きが出るから、経営手腕はあるものの、具体的事件解決が巧みかどうかは不明である。

(3) 有名事件を多く扱い、新聞等に良く出る人。大金をとって、マスコミに名前を売ることだけが上手な輩も居るから、腕利きとは限らない。

以上の大看板には該当しないが、処理の上手な弁護士も居るし、その他の世界で活躍する人材もある。

ポールがどの型なのか、判断もつかないが、ロータリーでは創始者としての評価や人間性の高邁さを見れば良いのであって、とにかく一人前の弁護士としてやって来ただけで充分である。

ポールは目立つのが嫌いだから、例会場でその地のロータリアンが起立拍手して迎えるスタイルは好まなかった。黙ってメーキャップカードにサインし、終了後はそのまま帰ってしまうことが良くあった。当クラブでは、後になってポールの来たことを知り、大騒ぎになった。

ポールは1935年横浜に上陸し、東海道線で京都に向い、神戸から乗船した。その機会に米山梅吉に会い、肝胆相照す仲になった。後に触れることになるかも知れないが、米山はポール放浪時期にアメリカで苦学していたし、この二人は1868年の同年生れである。1868年は9月迄は慶応4年で、改元されて明治元年になるから、彼等は共に慶応年間の生れである。ポールの生れた頃は、日本では徳川慶喜助命問題で勝海舟が東奔西走していた時期である。

米山は青山学院大学前身である教会付属学校の配慮で、アメリカに留学出来たこともあって、青少年教育に関心が深かったから、ポールとは話が合った。

ポールの執務室の机には、米山の胸像が置いてあったと言われるから、時々二人の共通点である広大な額をたたいて悦に入っていただろう。

彼が日本で気に入ったのは富士山で、世界中を旅行している間、「富士山に似た山があった」と記している。この時日本のロータリアンが来日記念に贈ったのが石燈籠で、船便でシカゴの自宅に配送した。このプレゼントは長くハリス邸に設置され

写真で見る ロータリーとその家族

越谷中 RC

世界の食文化を楽しみましょう

国際食文化交流会２／１開催

中村直前 G 夫妻も参加

料理はおまかせください

浦和ダイヤモンド RC

足踏み空き缶プレス

学園生皆の前で模範演技

足踏み空き缶プレス機を前にロータリー会員勢揃い

職業奉仕研修会

深川純一 PG による職業奉仕研修会

満員になった会場風景

川口モーニング RC

雨水タンクプロジェクト

ローターアクト

フレスポ八潮でのボウリング交流例会

浦和北ローターアクト・クラブ代表公式訪問

田村担当諮問委員による挨拶

浦和北 RC 橋本保彦会員のそばを御馳走になりながら、浦和北 RC 渡邊会長の卓話でした。

「いつでも夢をもって」とご自身の半生を伝えていただきました。

浦和北 RC　ローターアクト委員長
五十嵐　良泰

田村新世代担当諮問、浦和北 RC 会員の皆様、ローターアクト代表、他地区からのローターアクター、OBOG など多数ご出席いただきました。

全員集合でハイ・パチリ

このページは皆様のクラブやロータリー家族からの投稿を写真入りで掲載します。
投稿はガバナー事務所まで。E-mail : ri2770iwabuchi@plum.plala.or.jp